



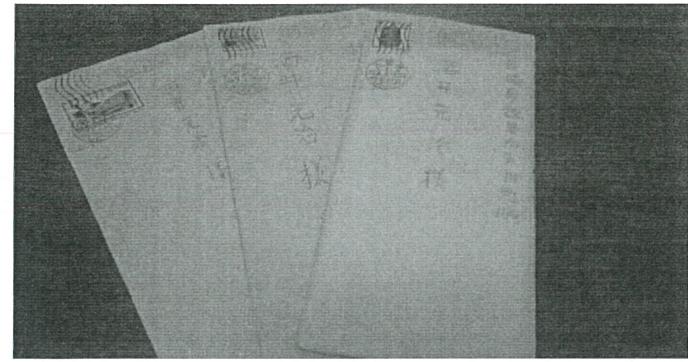
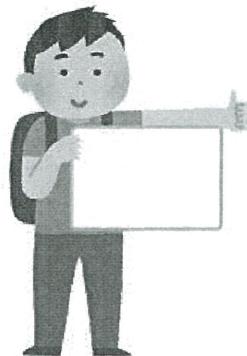
親切って、誰のため？

10/24 全校朝会・校長講話より

私の大学時代の体験談。大学在学時、私は「旅」にあこがれて、日本を半分ほど回ったことがあります。大学3年の夏、お金もそれほどなかったので、「ヒッチハイク」で回りました。九州を脱出して、中国地方から長野県上高地、富山県黒部立山から神戸六甲アイランド、淡路島、四国は愛媛・高知、そして九州に戻ってきました。宿は駅などで野宿、お風呂は銭湯、(このころはまだ各地に銭湯もありました)10日ほどの旅でした。いろいろな人の車に乗せてもらいました。多くはトラック。外車(ミニクーパー)に乗せてもらったこともあります。何人もの人に食事をおごってもらったり、お酒をごちそうになったりと人の親切が身にしみて感じられる旅でした。30年ほど前の話です。いい時代でした。(今ではどんな人がいるかもわからないので、危険だということも子どもたちには伝えました。)この旅でもらった人の温かさ、親切はいつか自分が誰かにお返ししようと心に決めていました。

私は学生時代にいろいろなアルバイトをしていたのですが、1年生から続けていたのはスーパーマーケットの店員でした。この旅から数ヶ月後の3月のある日、いつものようにレジに立っていると、2人の中学生が訪ねてきました。聞けば、卒業記念に自分たちだけの自転車の旅を計画し、久留米からここ(諫早)まで来たとか。今日の宿を探しているが、安いところがないかという相談でした。私は自分の経験から、自分が受けた恩を返すときだと思い、安い宿を手配し、バイトが終わるとこの2人を訪ねました。そして、食事とパフェをごちそうしました。

その数日後、私の元に3通の手紙と久留米絹(かすり)の財布が送られてきました。2通は2人の中学生から。1通はそのうち一人のお母さんからでした。財布はどうになくなっていましたが、私はこの30年前の手紙を今でも持っていて、先日の朝会では子どもたちの前でこのお母さんのお手紙を披露しました。内容は次の通りです。



日差しがまろやかになり 風がやさしくなって、草花が芽吹き始め 静かに春の訪れを感じているまもなく、すっかり春めいてまいりました。

先日は、子どもたちがたいへんお世話様になりました、ありがとうございました。おかげさまで 無事に3月31日の夜中に帰ってまいりました。

見ず知らずの方に あれこれと 細やかなお心遣いをいただき 胸が熱くなりました。

西も東もわからない見知らぬ土地で、どんなにか 心もとなかったろうと思うと、ご親切は身にしみてうれしく お礼の言葉もございません。

見るもの、聞くもの全てめずらしく 意義深い毎日であったと思います。

自分の力で初めて挑戦した自転車の旅

すがすがしい思い出となって 気分を新しく引き立ててくれることと思います。

何よりも 酒井様のあたたかいお心にふれることができましたが、私たちにとってとてもすばらしい経験でした。この経験を子どもが どのように生かしていくのか また楽しみです。

どうしても もう一度お会いするのだと張りきっています。その節は またどうぞよろしくお願いします。もし、こちらの方にお出かけの折には どうかお立ち寄り願います。お電話いただければお迎えにまいりますので。

どうぞお体に気をつけて、お健やかな毎日でいらっしゃいますように お祈り申し上げます。

(原文通り)

残念ながらこの2人とはこの後会うことは叶いませんでした。



この手紙を子どもたちの前で読み終えて、「さて、親切ややさしさって誰のためにしているんだろう?」と投げかけてみました。「もちろん親切にしてもらった方はうれしくなるよね。でも、親切にした自分の心の中にもほんわか温かになるものってない?親切にできた自分をちょっと好きになることってない?」と言うと子どもたちも「ふむふむ」と頷きます。

「そうだね、人のためにやっているようで、親切って自分のためにもやっているんでしょうね。

みなさんは今日、どんな親切をしますか?

どんなやさしさで自分を好きになりますか?」

上履きをなくします(体育館シューズを上履きと兼ねます)

私は小値賀小に赴任するにあって、3月に昨年度の資料に目を通させてもらいました。学校評価で「体育館シューズが必要か?」という旨の御意見をいたしました。旧校舎では、廊下がコンクリートで上履きと体育館シューズを兼用にしてしまうと砂を運んでしまい、体育館のフロアを傷つけてしまうことがありました。しかし、今はこんなにきれいな校舎です。保護者負担の軽減からも上履きと体育館シューズを兼用にしようと思います。

先日のPTA運営委員会では、体育館シューズをなくし、校舎で使う上履きを兼用にすると言っていたのですが、学校でよく検討した結果、体育館シューズがやはり運動面では優れ、安全性も保たれることから、体育館シューズを上履き兼用で使いたいと思います。



今後不要なのはこれ



こちらを上履きと兼用にします

体育館シューズの方がちょっと高いのですが、子どもたちの安全のためにご理解とご協力をお願いします。

今使っている上履きは、そのまま使って古くなった際には新しいものを購入する必要はありません。(体育館シューズのみで使わせてください。) 来年4月ぐらいをめどに全員が移行できたらと考えています。

運営委員会の情報と錯綜してしまい、たいへん申し訳ありません。

掘ったど～！

春に担い手公社のみなさんにお世話になって植えた作物(オクラ、落花生、マクワウリ、カボチャ、枝豆)も収穫を終え、最後の収穫、

サツマイモ。先日、1年生と6年生で芋掘りをしました。6年生が一生懸命「ここを掘って！」とアドバス。中には1年生の顔ぐらいの紫のサツマイモが出てきました。



今年は少雨の夏で、いつも気にかけてくださっていた担い手公社の田川さん、松山さんも意外と豊作だったことにほっと胸をなで下ろされていました。山田さんも本当にありがとうございました。

収穫した芋はしばらく熟成させて、焼き芋にする予定です。また、給食にも登場する予定だとか。秋の恵みに感謝です。



自立、宿泊学習！

台風接近により延期していた5年生の宿泊学習ですが、10/19～21、世知原少年自然の家で開催することができました。帰ってきてその様子を聞いてみると、自分たちで様々なことができたとか。先生方の指示も聞いていて、野外炊飯でカレーを作ったときなどは予定よりずいぶん早く後片付けも終わり、少年自然の家の方もびっくりされていたということでした。自分たちで協力してやり遂げることをめあてに取り組む宿泊学習。しっかりと成果をあげてきたようです。宿泊学習を終えての子どもたちの一句を紹介します。

ワッショイは 一番苦戦だ たいへんだ 何度もやって 指示書クリア
(集団ゲームで4人程度が連なり肩に手を置いて「ワッショイ！ワッショイ！」と大声で指定された場所を一周する指示があります。声が小さいとやり直し、手が離れるとやり直しの過酷なゲームの様子を詠っています。)

川村 聖斗

暗闇で 裏声聞けた 瑛貴さん とても高くて とてもびっくり

山田 優

寒すぎて 感覚なくなり 死にかける それでも最高 沢登り

岩坪 果恋

沢登り 岩をのぼって 転びそう ガタガタふるえて ゆげが出た

(沢を登り終えた瑛貴君の体からは信じられないくらいの湯気が立っていたそうです。)

崎山 瑛貴



リクエストをお願いします！

「どうどうリクエスト選手権」はいよいよ本番です。
11月～2月リクエストの数でポイントを競います。

学校にいらっしゃって子どもたちの頑張る姿に癒されてみませんか？
お客様は全ての島民のみなさん（もちろん島外のお客さんもOK）です。
お客様あっての取組です。ご協力をお願いします。
(詳しくは児童玄関エントランスホールにて)